

<新四国相馬霊場とは>

実際に四国まで行き遍路をするには多大な時間と金銭、体力を必要とする。そこで身近に四国霊場巡拝を体験できるような各地に「新四国霊場」が作られた。「新四国相馬霊場」は江戸時代中期に各地で作られた「新四国霊場」の一つで、利根川を挟んだ相馬の地（下総国相馬郡；現在の取手市・我孫子市・柏市の一部）に開創した。相馬霊場には四国霊場にはない「掛所-かけしょ」があり「札所ではないが巡拝の途中で特別に立ち寄る場所、札所が離れている場合は休憩場ともなる。」としている。

～タクシーのご案内～

- 今井タクシー有限公司 04-7182-1341
- 株式会社ニュー東豊 04-7183-3322
- 京成タクシー東葛 0120-84-0103
- 豊島交通株式会社 04-7183-5001

※この地図には…

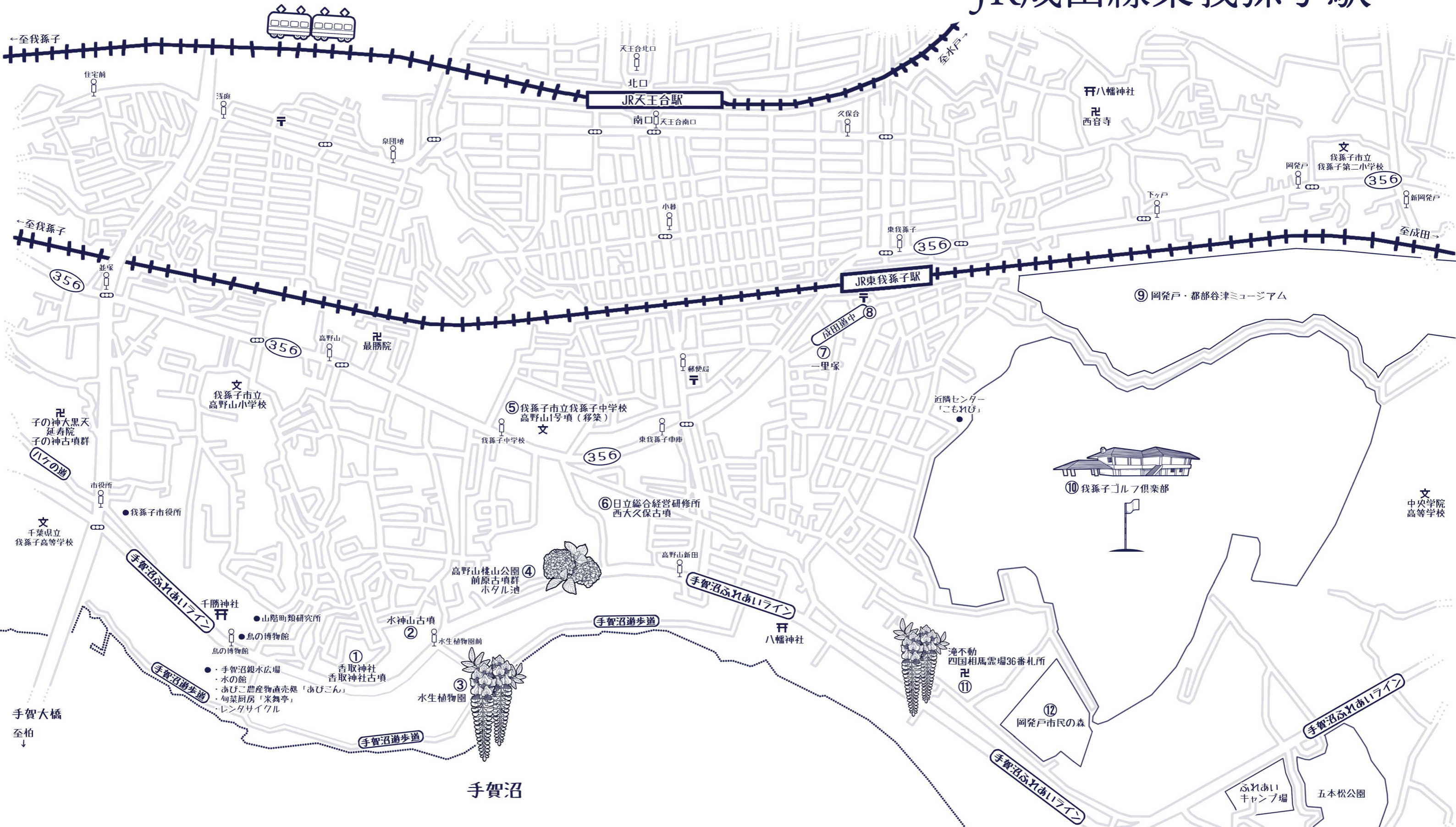
- 坂東バス
 - あびバス（栄・泉・並木ルート）
 - アイバス
- のバス停が記載されています。



200m

我孫子まち歩きマップ

JR天王台駅南口 JR成田線東我孫子駅



①香取神社・香取神社古墳群
祭神：経津主命（ふつぬしのみこと）
創立の時代は、同社の神社明細帳によると祭神経津主命で天慶3年（940年）とされているが、定かではない。
明治40年（1907年）の合祀令により、多くの神々を合祀している。
敷地内には香取神社古墳群がある。

②水神山古墳（千葉県指定文化財）
東葛飾地区最大の前方後円墳。その全長は69m。
後円部墳頂部には粘土に覆われた割竹型木棺がおさめられ、棺内からは首飾りに使ったと思われるガラス小玉280個をはじめ管玉・刀子・針などが副葬されていた。
出土品や古墳の形状から4世紀末の古墳と考えられる。
これらのことは大和王権とのつながりを示し、当時の我孫子にはこれだけの大土木工事が可能な社会機構と経済力が備わっていたことがわかる非常に重要な古墳。

③水生植物園
4月下旬から5月上旬にかけて咲く、藤棚が美しい。
5月下旬から6月初旬にかけては、黄色の花菖蒲。
6月下旬は紫陽花など、時期ごとに咲く花々を楽しむことができる。

④高野山桃山公園・ハケのホタル池・前原古墳群
見晴らしがよく眼下に広がる手賀沼を一望でき、眺望のすばらしさは手賀沼湖畔随一。
園内には緑を保存した斜面林と、湧水を使って復活させたハケのホタル池がある。
かつてはホタルが飛び交っていたというホタル池周辺には紫陽花が植えられており6月ごろには色とりどりの花を楽しめる。
同公園から市内最古の前原古墳が発掘された。
古墳は残念ながら主体部が既に失われ、副葬品の有無も不明だが、古墳周囲の溝から出土した土器は3世紀ごろのものであり、水神山古墳をおよそ100年さかのぼる我孫子市最古の古墳。
現在は埋め戻しが行われ、手賀沼を見下ろす公園の突端部に保存している。

⑤我孫子市立我孫子中学校・高野山1号墳石室（移築）
中学校の前庭には、高野山1号墳（6世紀後半、現在消失）から移築された石室がある。
校庭一帯には水神山古墳造営時に関わるとされる住居跡が多数あった。

⑥日立総合経営研修所・西大久保古墳（非公開）
四季折々の風情を醸し出す側道の並木は「我孫子市景観賞」を受賞している。
普段は非公開であるが、秋には同所の協力を得て”我孫子の景観を育てる会”が庭園の公開を行っている。
庭園からの手賀沼の風景は格別である。
また、敷地内には西大久保古墳がある。
縄文時代と古墳時代の複合遺跡、4～9世紀の住居跡。

⑦一里塚
道があったことを現在にも伝える史跡として、一里（約4キロ）ごとにつくられた一里塚が東我孫子と湖北に残っている。
県内でも塚が残っていることは珍しく、昭和9年（1934年）に千葉県が史跡保存のために建てた石碑が立っている。

⑧成田道中
水戸道中がすげ替えられたあと、元々水戸道中としてとおっていた道がのちに成田参詣の道となった。
成田道中と水戸道中の分かれ道は八坂神社前を通り我孫子宿を抜けるとある我孫子第一小学校前の三叉路の左手を進むと水戸道中、そして右手に続く道と分かれる。それこそが、東我孫子の一里塚へと続く道。
分岐点にある石碑には「右成田道」とあり、「布佐、木下し、安喰、成田…」と記されていることから、成田道中だったことがわかる。
松尾芭蕉が鹿島詣の際に立ち寄ったといわれている。

⑨岡発戸・都部谷津ミュージアム
谷津とは、台地に谷が入り込む独特の地形の呼称。
その細長い低湿地は昔から水田として利用され、谷津田と呼ばれた。
谷津田は米を生産するだけでなく、様々な生き物を育む場でもあった。
当時の農村環境の復活を目指し「谷津ミュージアム」（野外博物館）の事業を平成14年（2002年）から展開している。
広さ36.7ha（約92%が私有地）の敷地には、多自然型護岸、ホタル・アカガエルの里、作業小屋等が整備され、自然観察会・田植え・稲刈り等の行事がある。
夏には「ヘイケボタル」の飛翔が見られる他、浅瀬の池に発生する「ヒカリモ」は市指定文化財に登録されている。

⑩我孫子ゴルフ倶楽部
当時町長であった染谷正治や杉村楚人冠、嘉納治五郎らが協力し合い町の発展のため昭和6年（1931年）にオープンした戦前から続く歴史ある名門ゴルフ倶楽部。
平成29年（2017年）には日本女子オープンゴルフ選手権が開催された。
入口付近の景観は、四季を通し素晴らしい眺めである。
普段はメンバーやゲスト以外は立ち入ることができないが、年に一度「市民観桜会」が開かれており美しい桜とグリーンを楽しむことができる。

⑪滝不動
我孫子市の古い社寺の十指に入る。
寛平年中（889～898年）に平高望王（たいらのたかもちおう）が空海作の不動尊像を祀ったとの由来が語られている。
現在の御堂は文化13年（1816年）に建立されたもの。
志賀直哉の小説「矢島柳堂」に登場する藤棚がある。
新四国相馬霊場36番札所。

⑫岡発戸市民の森
広さ約2.3haの自然をそのまま生かした森。
樹木や山百合、イカリソウなど約200種の植物や、昆虫、野生動物など豊かな自然が残っている。
森の中にある岡発戸峠は市民景観奨励賞を受賞している。
急な峠ではなくなだらかな丘陵風景が望め、春には梅の花や桐の花が楽しめる。

